

R元意向調査の結果概要

(実施期間 令和元年8月14日～9月13日)

1 回答状況及び病床の状況

構想区域名	回答状況								
	病院			診療所			合計		
	対象数	回答数	回答率	対象数	回答数	回答率	対象数	回答数	回答率
東胆振	13	13	100.0%	16	12	75.0%	29	25	86.2%

2 「病床機能報告制度」について

(1) 平成28年度以降の報告内容を記載【許可病床数】

構想区域名	H28						H30						R元(予定)					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
東胆振	33	1,414	201	510	29	2,187	33	1,318	297	510	29	2,187	33	1,318	297	510	29	2,187

(2) R元年度の報告内容について、「許可病床数」と「稼働病床数」を記載

構想区域名	許可病床数						稼働病床数						非稼働病床数					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
東胆振	33	1,318	297	510	29	2,187	33	1,295	287	510		2,125		23	10		29	62

(3) 2025年の病床機能(予定)について記載

構想区域名	2025年病床機能(予定)					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟棟	合計
東胆振	33	1,303	279	510	47	2,172

3 今後担うべき役割

※下記の選択肢について、選択した医療機関数を記載

構想区域名	救急患者の受入れや手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う	近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う	近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後のリハビリテーションを担う	長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う	かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う
東胆振	4	9	5	3	3
(再掲)病院	3	2	5	3	
(再掲)診療所	1	7			3